

インターネットとパソコンを接続しての利用

一般社会と同様、大学生活でもインターネットとパソコンはすでに不可分の関係にあります。

Webの利用

インターネットが爆発的に普及した背景には、Webの存在が大きいのは言うまでもありません。大学生活でもWebはさまざまな用途で用いられています。

1 情報検索

レポートを作成したり講義やゼミで与えられた課題を解決するために、さまざまなWebサイトの資料や情報を検索して参考にするのは、今やごく当たり前のように行われています。現在では膨大な量の情報がインターネット上に掲載されています。インターネット上の情報は以前に比べて非常に充実してきましたし、特に官公庁や研究機関等、あるいは公的な機関や新聞社が掲載しているデータ等は、かつては白書として出版されていたようなものまで、そのままオンラインに掲載されています。また、インターネットの情報は、内容の新しさという観点でも最新の情報が常に更新されている点で優れています。

しかし、より問題を深く追求するには、まだまだ図書や雑誌記事、論文としてこれまでの長い活字文化の歴史の中で蓄積されてきた膨大な知識情報とは比較になりません。インターネット上にあるものが皆さんの調べたい問題に関する資料のすべてではないこと、むしろ調べたい事柄を探す糸口の一つでしかないということを理解しておきましょう。

2 図書検索、新聞記事検索

現在ではどの大学の図書館もその蔵書目録が電子化されていて、自分の閲覧したい図書を探し出すのはパソコン端末から行うのが普通ですし、それをWebから行うことができます。同様に国会図書館や公立の図書館、他大学の図書館の蔵書や資料もWebから検索ができ、必要ならばそれを借りる手続きをすることもできるようになっています。

新聞記事については、いずれの新聞社も最近1～3ヶ月までの記事であれば、社説・特集記事等を含めWebから無料で検索し読むことが可能です。ただし、それ以前の記事も含む本格的な利用については有料サービスに加入する必要があります。学生個人がこうした有料サービスを利用するのは負担が大きいので、本学をはじめ多くの大学図書館がいくつかの有料サービスに加入しており、図書館のパソコンや学内LANからの利用であれば、新聞記事を含む各種のデータベースを利用することができるように新聞社やデータベース会社と契約を結んでいます。

3 大学生活の窓口として

本学では、学生サポートの窓口となって掲示板(連絡事項、休講通知、行事予定等)、シラバス、履修登録、成績照会等を行うことができるポータルサイトとしてUNITAMAを運用しています。

自宅や外出先からもこのページにアクセスすることで、上記のような大学での情報を見ることや手続きができるようになっています。学期ごとの履修登録や教職などの各種資格登録などもUNITAMAを通じて行うようになっています。こうした登録・申請は学期の合間に行われるので、大学から遠距離に住む学生、実家が遠方にある学生にとっては非常に有用なシステムです。

UNITAMA 画面



メールとレポートの提出

インターネット上で最も使われるサービスにWebと並んでメールがあげられるでしょう。最近では携帯電話が普及したため携帯電話のメール機能が手軽でよく使われますが、パソコンを使ったメールは携帯にはない多くの機能を持っています。

たとえば携帯で送ることのできるメールは文字数に制限があるのに対して、パソコンで使うメールは無制限ではありませんが、携帯のメールよりもはるかに長い文章を送ることができるので、複雑な内容のメールを送受できます。また最近の人たちは携帯のキーボードからでもかなり速く文章を書くことができる人がいますが、パソコンの本格的なキーボードの速さにはかないませんし、はるかに楽に文章を書くことができます。

携帯のメールでも小さなサイズの画像を送ることはできますが、パソコンのメールでは基本的にどんなファイルでも添付することができます。複数枚の写真画像や画像以外の形式のファイル、たとえばワープロや表計算ソフトのファイル、音声ファイル、簡単な動画ファイル、プログラムなども送ることができます。したがって、レポートの提出をメールで受け付ける科目担当者も最近は増えています。ただし、あまり大きなファイルを添付すると膨大な通信量になってしまいますので、添付できるファイルのサイズには一定の制限がかけられています。

一方で、携帯のメールは利用者が確認作業を行わなくても相手側からメールが送られてきますし、どこにいても小さな携帯電話さえ持っていれば使えるという非常に大きなメリットがあります。パソコンのメールは、毎回パソコンを起動しインターネットに接続し、メールの確認作業をしなければなりません。そこで大学によっては携帯でも利用できるメールやWeb等のサービスを増やし、パソコン用のメールと併用して効果的に運用しようという動きも活発です。

オンライン講義支援システム

近年は、以前ではコンピュータが使われなかった一般的な講義科目や演習科目にもWebをベースにしたインターネットの利用が盛んになっています。これをe-learningと言います。

最近では多くの大学が、オンライン講義支援システムあるいはe-learning支援システムとも呼ばれるシステムを導入しています。オンライン講義支援システムとは、Webブラウザから利用できる大学の講義に関するさまざまな情報やサービスを統合的に管理するシステムで、講義の資料や課題の提示、レポートの回収、小テストの出題・採点、アンケート、掲示板などの機能を持っています。